

SSH 化学体感校外学習（薬学実習）

大阪大学薬学部において、創薬における最先端の研究者から講義や説明を聞き、また、普段高校では体験することのできない実習を経験することができました。実施後の生徒アンケートによると、研究の最前線で研究されている方から直接話を聞くことで、科学の進歩を身近に感じ、興味関心を深めることができました。また、生徒自身が直接お話を聞き、最先端の実験室で実験の様子を見て、実験を体験することで、科学の面白さを理解し、自分自身の将来を改めて考えるきっかけになりました。

日程：平成29年7月25日（火）

場所：大阪大学薬学部

参加者：生徒16名（1年生8名、2年生8名） 引率2名

創薬についての講義（AM）

大阪大学薬学部准教授長野一也氏による講演『アカデミア創薬の最前線～ライフサイエンスへの誘い～』では、創薬における歴史や最前線の研究についてのお話を聞かせていただきました。企業では莫大な費用をかけて新薬を合成すべくしのぎを削っており、そういう社会情勢の中で大学が創薬の分野でどう関わっていくか、安倍首相でよく知られるようになった潰瘍性大腸炎の新薬アサコールのお話、大学の話など多方面にわたる講義をしていただきました。



長野准教授による講義

マイクロピペットを使用した実験研修

大阪大学助教東阪和馬氏による SDS-PAGE（ポリアクリルアミド電気泳動）の原理、ピペットマンの使用法、電気泳動、染色などの講義と実習を受けることができました。先生方を始め、多くの院生の方々が生徒の実習に関わっていただくと共に、電気泳動の待ち時間には大学生活や就職についてなど普段なかなか聞けない話を直接伺うことができました。



堤研究室で実験研修